

授業コード	2121191nh1	科目ナンバリング	-----
授業名	歴史学／歴史学 B		
英文名	History／History B		
配当学年	1年	単位数	2.0単位
開講年度・学期	2023年度前期	曜日・時限	月曜3限
実施教室			
授業形態	講義		
学位授与方針（D P）	理工学部理工学科DP4		
担当教員(先頭者が主担当)	中島 浩貴		

目的概要	「歴史学 B」では、古代から現代までのさまざまな歴史に触れてもらいます。人類の長い歴史のなかで、歴史に関するものの見方は大きく揺れ動いてきました。その一端を知ること、私たちは今現在のことも客観的に見るができるようになります。そのなかで、私たちが学問や技術、社会との接し方についてもたくさんの方に気づきます。なぜ人間は過去のことを大事なことでとらえるのかを一緒に考えていきましょう。リラックスした雰囲気の中で、歴史に親しんでもらい、さまざまなことに関心を持ってもらう土台にしたいと思っています。
達成目標	（１）学生が学術的な記述とそうでないものがわかるようになる。 （２）学生が今と歴史との関連性についてわかるようになる。 （３）人間がどのように物事を考えてきたのか、歴史的経緯から現在に至るまで、学生が概略がつかめるようになる。
関連科目	「戦争と平和の歴史（歴史学A）」「欧米文化研究」「人文社会学ゼミB（中島）」「多文化コミュニケーションA」「多文化コミュニケーションB」
履修条件	とくになし。
教科書名	新谷卓、中島浩貴、鈴木健雄編著『歴史のなかのラディカリズム』彩流社、2021年。
参考書名	トーマス・キューネ、ベンヤミン・ツィーマン編『軍事史とは何か』原書房、2017年ほか、講義中に詳しく述べる。
評価方法	授業中提出課題20～30パーセント+試験70～80パーセント 第14回目の講義時間中に試験を実施します。
事前・事後学習	【事前学習】シラバスの指示に従い参考書等の該当箇所を目を通しておくこと。 【事後学習】毎回の授業終了後、参考書等の授業内容に対応する部分を復習すること。
自由記載欄	【アクティブラーニング】 講義に関係する本を探してもらい、ビブリオバトルによって行う簡単なプレゼンテーションをする場合があります。 【ICTの活用】 とくになし。

テーマ・学習内容	
<第1回>	授業概要について／歴史とは何か
第1回 事前・事後学習	シラバスを確認し、講義内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を探しておくこと。（計190分）
<第2回>	宗教と歴史――『旧約聖書』では歴史はどのように書かれていたのか。
第2回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第3回>	古代ギリシア・ローマ人と歴史――人間、政治と戦争の歴史
第3回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第4回>	中世ヨーロッパの歴史――宗教的な影響力の強い歴史
第4回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。（計190分）
<第5回>	近世・近代の歴史学――人間主義、哲学的な歴史の見方
第5回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第6回>	近代の歴史学――実証主義的歴史学、社会科学としての歴史
第6回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第7回>	現代の歴史学（１）――伝統的政治史から多様化へ（社会構造史、社会史、ジェンダー史）
第7回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。（計190分）
<第8回>	現代の歴史学（２）――あたらしい歴史学（軍事史、文化史、グローバルヒストリー）の実例を検討する
第8回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第9回>	現代の歴史学（３）――あたらしい歴史学の実例を検討する
第9回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第10回>	現代の歴史学（４）――歴史と映像
第10回 事前・事後学習	講義中に見たドキュメンタリー・映画について、レポートを作成、提出してください。（計190分）
<第11回>	日本の歴史学（１）――明治から2000年頃までの日本の歴史学の動き
第11回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。（計190分）
<第12回>	日本の歴史学（２）――日本における映像のなかの歴史
第12回 事前・事後学習	講義中に見たドキュメンタリー・映画について、レポートを作成、提出してください。（計190分）
<第13回>	歴史学と現在
第13回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。（計190分）
<第14回>	総復習（試験含む）
第14回 事前・事後学習	講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。（計190分）
質問への対応（オフィスアワー等）	1444研究室（中島浩貴研究室）で受け付けます。オフィスアワーは金曜17:10-18:00、講義や会議がある場合がありますので、事前に連絡をお願いします。
E-Mail address	hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp
履修上の注意事項（クラス分け情報）	とくになし。
学習上の助言	講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。
備考	
J A B E E	RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係を「カリキュラムマップ」で確認すること。 なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。

学期末試験＜事務部記入＞	
試験方法	ネット実施
試験実施日時	2022/07/11 月 3時限
参照可否	教科書、ノートのみ閲覧可能
着席方法	試験着席
レポート提出先	
レポート提出期限日時	
備考	